

総 評

リスニングに新傾向問題が 1 題追加され、並べかえ問題が第二問にまとめられた。第三問、第四問の問題数が減り、出題内容の変更があったが、全体的な難易度としてはやや易であった。平均点は 60 点前後になると予想される。第三問、第四問の長文読解は、本文の内容を正しく読めていれば概ね正答できる内容であった。第五問の英作文は、昨年度に比べればやや易しかったといえる。あすなろ学院の英語の授業を通して基本事項を学び、実戦ゼミや直前特訓ゼミで長文読解演習を積んでいれば正答できる問題が多かった。

難易度・出題形式

【第一問】リスニング〈普〉

問題 1～問題 3 までは例年通りの出題形式だったが、新たに英語で聞き取った質問に対して英語で答える問題が追加された。どの出題形式に関しても、実戦ゼミと直前特訓ゼミで演習を積みれば十分正答できる。

【第二問】適語選択・適語補充・語順整序〈易〉

昨年度とは異なり、適語選択が 3 題に増え、適語補充が 2 題に減り、昨年度までは第三問と第四問に組み込まれていた語順整序がここに組み込まれた。教科書レベルの問題が多く、中 3 内容を含むものが 1 題だけだったため、全体的に解き易い内容だった。また、問題の半数以上を講習会でも扱っているため、あすなろ学院で学んだことを復習しておけば十分正答できる。

【第三問】長文読解〈やや易〉

出題内容は、指示語内容を書く問題、適語選択、英問英答、内容一致であった。昨年度と異なり、語形変化、語順整序がなくなり、内容一致問題が選択肢から 2 つ選択するものになった。問題本文が昨年度と比べ 5 行少なくなっており、読みづらい文もほとんどないため解き易い問題であった。3 の英問英答では、疑問詞 **what** が主語になっているため、解答する際には代動詞を用いる問題だが、実戦ゼミと直前特訓ゼミで何度も扱っている。

【第四問】対話文読解〈標準〉

出題内容は、適語選択、日本語で理由を書く問題、本文内容と合う絵を選ぶ問題、英問英答が出題された。昨年度と異なり、語順整序、適語を抜き出す問題、適文選択、内容一致がなくなり、適語選択に本文内容の要約に関するものが追加された。どの問題も本文内容を読めていれば答えを導けるので、第三問と同様に実戦ゼミ、直前特訓ゼミを通して演習を積んでいれば十分正答できる。2 の日本語で理由を書く問題で、中 2 で習った “What is ～ like?” が、“People can understand what the places are like …” のように間接疑問となって出題されており、この文章を正しく訳せているかどうかのポイントである。

【第五問】英作文〈標準〉

1 は出身地をたずねればよいことが分かれば正答できる。2 は宮城県のおすすめの場所を相手に提案する英作文だった。昨年度に比べれば書きやすい内容だったが、どこをおすすめするかを選ぶのに苦労するかもしれない。